

「戦争をする国」への道は

絶対にいやです

私は安倍政権が出した「国家安全保障基本法案」——戦争法案に絶対に対抗です。安倍首相は「国民の平和・生活を守るため」だと言っていますが、国会での論議、憲法学者の意見などを聞いてみると、逆に日本が戦争に巻き込まれる危険がより現実的になる法案だと思っています。

実際に戦闘地域に行かされるのは私たち国民です。安倍政権になって、日本は軍事力を拡大しています。安倍政権を増強することは周辺諸国の不安を呼び、逆に日本を危険にさらすことだと思っています。

戦争が起こった時の準備をするのではなく、戦争を起こさないために行動すべきです。それが憲法9条の精神です。

私の学校の仲間たちも戦争法案に不安を感じています。「戦争には行きませんが、命のための宣言署名」——集団的自衛権行使反対の署名を呼びかけていますが多くの子が「戦争には行きたくない」と署名しました。

私たちは海外で行われる戦争に参加し、自ら

の命を投げ出すこと、ひとの命を自らの手でうばうことを拒否します。同じ世代で「就職先がない」「進学するお金がない」などの様々な理由で自衛隊に入隊した人がたくさんいます。自分の友人や同級生、兄弟姉妹、そしてこれから生まれてくる子どもたち——私たちがとって大切な人が戦争に参加し、なんの罪もない人を殺し、殺される国になることに反対します。安倍首相に私たち若者の気持ちをちゃんとわかっけてほしいです。

来年夏には18歳で選挙権がもてるので私も投票できます。自分のなかの「社会を変えたい」という思いを投票であらわせるのでうれいです。しかし、自分の意見を持って投票に行ける高校生がどれくらいいるか不安でもあります。このことをきっかけにして、高校生がもっと社会の出来事、政治に関心を持ち、自分自身のこととして勉強し考えるようになることを願っています。

自由の森学園高等学校3年 山森 要



大森宗次 絵